

ひる なが なが、陽射しが明るくなってきて寒さも少しづつゆるんできたように感じますが、まだまだ寒いとレグウォーマーを手放せずにはいます。3月になって陽射しのある日中はポカポカと温もりを感じることもありますね。やれやれ spring has come! ようやく春の訪れを感じられるようになりました。この冬は本当に寒かったです。特に「ゆんたく」の古い日本家屋は隙間だらけで、一步廊下に出ると外にいるような冷気を感じます。昔(少なくとも戦前)までの日本人は我慢強かったのでしょうか。この寒さに火鉢や炬燵で過ごしていたのですから。私は寒いのが大の苦手、「凜とした寒さ…」などという表現それ自体にゾクゾクと背中が寒くなってきます。

「ゆん・なん」のこどもたちは、新学年を前にして期待と不安と喜びのごちゃ混ぜの気分ようです。ちょっとした問題があったりしましたが、それぞれにクリアして今は前向きに新学年、新学期の心づもりをしている様子です。【立ち直れば失敗は帳消し!】—キッチンに掛けてある猫のカレンダーの標語より

コロナ禍での3年間を経験した今、「孤独」というテーマが注目を集めています。個人の内面的問題とされてきた孤独が、社会的な問題として捉え直される時代になったようです。子どもの自殺が、厚労省の発表で246人と、去年の同じ時期より58人多くなり、深刻になっています。日本政府も2021年2月に「孤独・孤立対策担当室」を内閣官房に設置し、担当大臣を任命しています。孤独というのは、精神の問題として、心がけの問題として語られることはありましたが、孤独に対応する「政策」とうものが提案されるということは、かつてなかったことなので驚きがあります。孤独は政治の問題であり、孤独につきまとう不安を社会で引き受けるシステム作りが必要だということです。新型コロナウイルスは、(人と人が直接会い、互いの温かみを感じながらおしゃべりをし、笑いあう)私たちからそんなごく普通の日常を奪ってしまいました。そういう機会がすくなくなるということが、孤独が注目されるようになった原因だと思います。今、会社でも、学校でも、食堂でも、「黙食」(黙って食べる)が推奨されています。また、一人で食べる「個食」という新しい言葉も使われています。できるだけ会食を避けましょうということなのですが、一緒にものを食べるというのは、人の心の中のわだかまりが消えたり、思いがけないその人の良さが発見されたりする、人間関係を緊密にする大事な行為と思えます。

…… 五木寛之の孤独を超える生き方より



**ゆんたくホームのゆんたくさびら**  
(おしゃべりしましょう)

2月のゆんたくは受験があったり、学校の実習に向けて用意が始まったりと忙しく過ごしていました。

Aちゃんは高校に合格しました!新生活に向けて用意しなければならないこともたくさんありますが、受験を終えてホッとひと段落。とてもよく頑張りました!おめでとう!

実習に臨んだBちゃんは新たなことに挑戦して自信をつけ、またひとつたくましくなったように思います!!



**なんくるはなんくるないさ~**  
(なんとかなるよ!)

日中はとても過ごしやすくなりましたが、花粉と闘う日々です(;▽;) 子どもたちは花粉症ではないようでとても元気に過ごしています。

そしてなんくるでは、Bちゃんが高校卒業を迎えました🌸

春休みに突入し、アルバイトに遊びにと日々充実した生活を送っています。4月から新生活が始まりますが、その前の約1か月の長い休みを存分に楽しんでほしいと思っています!



らいげつ  
来月のキッチンゆんたくのご案内  
2023年

4月19日(第3水曜日)開催  
よてい  
予定メニュー

- ・ゆんたくカレー
- ・サラダ(パスタ)



お知らせ

毎月第三水曜に開催中の、  
キッチンゆんたくをお手伝いして下さる  
ボランティアの方を募集しています!!  
興味がある方はゆんたくへ連絡を!!  
(TEL: 075-383-0926)



3月のキッチンゆんたく

メニュー♪

- ・ゆんたくカレー
- ・サラダ(パスタ)

夕方5時~なくなり次第終了

利用料: 無料(受付に募金箱を設置しています)

会食にご協力ください!

お菓子などは会食の会場に設置していま  
す!!

感染対策に留意して会食とテイクアウト

(テイクアウトは限定35食)の両方で開催しま

す!なくなり次第終了です。早めにきて

ね♪※※お車での来場はできません※※

徒歩・自転車でお越しください

**Thankful**

近隣の会社K様より金一封を頂きました。虜や様からは餃子を、K様からは手作りのココナツクッキーを、Hollyhock様からは女性の為のナプキンを、Kさんからカップ麺を、京都フードバンク様からは食材や食品を頂きました。  
皆様、ありがとうございました!

Thanks



紙芝居・絵本紹介

『大ピンチずかん』

鈴木のりたけ : 作

2022年に数々の賞を受賞し、テレビのワイドショーでも取り上げられた絵本です。3, 4歳からの対象ですが、鋭くもあたたかい観察眼と、思わずふき出すユーモアにあふれる絵本で、大人も楽しめるのでは……

<みどころ>

「ああ、もうダメだ。これは終わった。これは大ピンチだ!」……あなたがそう思うのはどんな時? 飲もうと思って注いだ牛乳がこぼれた。ガムをのんだ。テープのはしが見つからない。ゲームの充電ができてない……。大ピンチと言うのは日常生活を送る中で、いつだって突然にやって来る。大人になってみれば小さいピンチに見えることだって、子どもから見れば、それは立派な「大ピンチ」。どうのりきればいい? そんな大ピンチを徹底解説してくれます。よくあるピンチ、笑っちゃうピンチ、冷や汗の出るピンチから哀愁を感じるピンチまで。それぞれに「大ピンチレベル」や「なりやすさの5段階分類」、ちょっとした対処法までもが……

もういつピンチになっても平気!! きっと乗り越えられるとドーンと背中を押してくれる一冊になるのではないのでしょうか(\*^-^\*)